

TOKYO SCENE  
2018

2018年7月5日▶11日

於：ストライプハウスギャラリー

深谷正子企画

身体  
B o d y  
観察  
Observation

身体が現れる。身体を感じる。  
日常の身体と何かを意識した身体。  
それぞれの表現者たちが向き合った自分の身体。  
まずは観察することから始まる。  
33年目を迎えた Tokyo Scene、  
今年もストライプハウスが

熱い!



## スケジュール

7月

B フロア

M フロア

5日  
(木)

6日 19:00 ~ S-1 奥野 博(ダンス) + 方波見智子(Mar.) + 河崎今日子(Vn.)

(金) 20:15 ~ S-2 三東瑠璃(ダンス) + 角銅真実(音楽)

7日 15:00 ~ S-3 オカザキ恭和(ダンス)

(土) 16:20 ~ S-4 橋本正彦(ダンス)

17:40 ~ S-5 三浦宏予(ダンス) + 直江実樹(ラジオ) + 望月隼人(E.Gt.)

8日 14:00 ~ S-6 Odoru JOU(ダンス+朗読)

(日) 15:20 ~ S-7 菊地びよ(ダンス)

16:40 ~ S-8 秦 真紀子(ダンス) + 森重靖宗(Vc.) + 富士栄秀也(Voice)

18:00 ~ S-9 初期型(ダンス)

9日 19:00 ~ S-10 佐藤ペチカ(ダンス)

(月) 20:00 ~ S-11 入江淳子(ダンス)

10日 19:00 ~ S-12 黒須育海(ダンス)

(火) 20:00 ~ S-13 玉内集子(ダンス)

11日 19:00 ~ S-14 阿久津智美(ダンス) + 清水博志(something)

(水) 20:00 ~ S-15 雫境(ダンス) + MORIO(E.Gt.)

★ 17:30  
オープニング  
パーティ

12:00

18:00

高島史於

舞台写真  
50周年展

「1968~2018・  
舞台の魔術師たち」

### 料金・チケット

前売・当日とも ¥2,000 / 1セッション (全席自由)

追加は ¥1,000 / 1セッション

通し券 ¥9,000 / 全セッションフリーパス

#### 【ご注意】

※席数は最大30席です(机敷いれて)。それ以上は立ち見となる可能性がございます(椅子をご用意できますが、ステージが見えない可能性がございます)。

※フリーパスについても自由席で先着順着席です。お席が保証されるわけではございませんのでご注意ください。

※受け付け事務手続きのため、毎回入れ替え制をとらせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の上ご協力をお願い申し上げます。なお、インターバルが10分の平日夜に関しましては、連続鑑賞チケットに限り、そのままお残りいただくことも可能としております。

### 予約・お問い合わせ

Tel.....090-1661-8045 (深谷)

E-mail.....info@masako-fukaya.com

### スタッフ

【照明】— 玉内公一

【インスタレーション】— 深谷正子 / 原田朋乎

【音響】— 望月隼人

【協力】— 加藤智也 / 田口敏子

【宣伝美術】— 小笠原幸介

【ディレクション】— 深谷正子

【TOKYO SCENE 総合企画】— 長谷川 六

### 会場

#### ストライプハウスギャラリー

東京都港区六本木 5-10-33 Tel: 03-3405-8108





# TOKYO SCENE 2018

S-1 7月6日(金) 19:00~



タイトル: 『土踏まずに入り込む月』

土踏まずがすべてを通過させる。男の身体の奥に潜むエッチと軟体。階段を降りていく時に置き忘れていくもの。(振付補助: 深谷正子)

■奥野博 (ダンス)……ダンサー。アトスペース.kitenを中心に音楽家、詩人、役者とコラボレーションを展開。8月下旬『なづき』という作品を発表予定。

■方波見智子 (Mar.)……桐朋学園大学音楽学部打楽器専攻卒業後、スヴェーリンク音楽院卒業、オランダ国家演奏家ディプロマを取得。自宅の「スタジオ・バミ」にてライブやワークショップを行う。これまで別々に考えていたクラシックと即興を自分の中で統合させた「バミ祭り」を催す。「マリンバアンサンブル・マレット」、即興グループ「東京トライアングル」のメンバー。

■河崎今日子 (Vn.)……3歳よりヴァイオリンを故佐藤(星出)いと子氏に師事。大学では音響工学の基礎を故若林俊介氏の元で学ぶ。卒業後、エンジニアへの道はあっさり断念。再びヴァイオリンを手に、学生オケトレーナー、劇伴演奏、バンド演奏、ライブペイント共演などへ活動の幅を広げる。

S-4 7月7日(土) 16:20~

タイトル: 『Line』

■橋本正彦 (ダンス)……ジャズヴォーカルを学ぶうちに表現力の重要性を感じ、即興等を中心にコンテンポラリーダンスを始める。現在、ソロやデュオを中心に作品を発表。自分にしかできない表現を模索中。



S-5 7月7日(土) 17:40~



タイトル: 『ポートレート』

■三浦宏予 (ダンス)……ダンサー、女優。生まれ故郷、遠野の自然や環境の影響でシャーマニズム、アニミズムに興味を持ち、その延長線上でダンス、演劇に携わる。2014年より、深谷正子作品出演。2015年より河崎純主催音楽詩劇研究所「ユーラシアンオペラプロジェクト」にて、国内・海外(アルメニア・ロシア・ブリヤール共和国)公演出演。

■直江実樹 (ラジオ)……短波ラジオ奏者。2000年から短波ラジオ SONY CF-5950 による仕込みなしリアルタイムチューニングによるライブ活動を開始。ソロやインプロヴィゼーション活動の他、ラジオ集団「チューニングブラザーズ/短波兄弟」を主宰他、MIKIKAWOL、ガリノイズ、寒天縄など、参加ユニット多数。

■望月隼人 (E.Gt.)……ギタリストとして10代の頃よりハードコアバンドで活動。いくつかのサイケ、ロックバンドを経て数年前より舞踏家、コンテンポラリーダンサーとの関わり合いを持つ。

S-2 7月6日(金) 20:15~



タイトル: 『住処 solo ver.』

誰そ彼(誰ですかあなたは)。わたしとあなたを結ぶ時間の流れ。ねじれたり絡まったり解けたりつながったり。

■三東瑠璃 (ダンス)……ダンサー・振付家。今年度よりセゾン文化財団ジュニアフェロー。2004-2010Leni-Basso に所属し以降フリーランスとして活動。2017年より Co.Ruri Mito としてグループ作品を創作し始める。<http://www.facebook.com/RuriMito/> (写真=BOZZO)

■角銅真実 (音楽)……マリンバをはじめとする色々な打楽器、自身の声、身の回りの気になるあらゆるものを用いて、インスタレーションやアートプロジェクトでの制作など、演奏だけにとどまらない作家としての自由な表現活動を国内外で展開している。<https://manamikakudo.wordpress.com/>

S-3 7月7日(土) 15:00~

タイトル: 『雨はこぼれた』

「テーブルに水をこぼしたような雨 pouring rain」と翌日知った。忘れない単語になった。きのうだった。大雨の真夜中だった。大好きだよと何度も言った。声が出た。

■オカザキ恭和 (ダンス)……墨田区で2010年よりyahiro 8 という住居兼アトスペースを営む。枇杷系を経て、最近は路地や町工場など下町を舞台にダンス・パフォーマンスを行う。北斎ヨガ考案者でもある。



S-6 7月8日(日) 14:00~

タイトル: 『Letter』

原案・振付・演出・出演: JOU

演出・出演: 小林勝也 出演: 星ゆきこ 音楽: 笠松泰洋

祖母のお葬式の後、発見された古い手紙。祖父の戦死の状況が綴られていました。私の大好きな素晴らしい役者であり、演出家でもある小林勝也さんと、音のない世界に生きながら、朗読や歌に挑戦する、岩手在住の星ゆきこさん。尊敬するお二人にお手伝い頂き、この作品を皆様の前で作れること、心より感謝申し上げます。

■Odoru JOU (ダンス)……舞踊家、振付家、即興家、武蔵野美術大学映像学科非常勤講師。身体表現を基軸に、建築、音楽、演劇、映像、書道、デジタルアート、伝統芸能など様々な分野との協働創作を行う。2012~2015年おおすみ-かごしま芸術祭実行委員長。2008年ソウル国際舞踊祭 外国人振付家特別賞受賞 / 「浅草ダンスビデオ」IDILL2011



S-7 7月8日(日) 15:20~

タイトル: 『こなたそなた』

輪郭を揺らし解かず 瞬間に触れる  
内なる果て外なる果て  
こなたとそなたのはざ間を 行来し息づく

■菊地びよ (ダンス)……からだの内外を粒子とし、そのものになる踊りを探求。パフォーマンスと様々な人との継続的なワークショップを両輪に活動。「body dialogue space 体話舎」主宰。「ナイトスキップ」発起人。





【TOKYO SCENE について】

ダンスワーク主宰の長谷川 六による企画で、1985年から始まったダンスパフォーマンス、ワークショップ、講演会、写真展ほかとジャンルを超えたアートシーンを展開している。今回は33回目となる。2013年から現在のストライプハウスギャラリーのM,Bフロアで開催している。

S-8

7月8日(日) 16:40~



タイトル: 『動音連鎖 -3本の茎は蠢き絡まる-』

■ 秦 真紀子 (ダンス)……20才の頃モダンダンスの牧野京子に会い踊りの道へ。1998年初めてのソロ作品「蛍火」が舞踊作家協会新人奨励賞を受賞、その後ソロを中心に活動、2018年より自主企画ソロ公演「蕾の肌理」シリーズ開始。多くの作品やコラボに刺激を受けながら自分の踊りを模索中。

■ 森重靖宗 (Vc.)……音楽家。チェロによる即興演奏を主に、国内外の数多くの音楽家や舞踏家等と共演する。アコースティック楽器の可能性を広げて奏でられるその様々な音響は、繊細かつ豊かで独特の雰囲気醸し出す。www.mori-shige.com

■ 富士栄秀也 (Voice)……ネイキッドヴォイス。1996年より活動開始。2004年より、コラボラボ oh-ho を主宰、即興表現の分野で、従来のセッションに留まらない企画性のある即興表現のWS、セッションを毎月開催。オーガナイザーとして、東京を代表する即興WS主催 団体5つを一室に会した「自由即興フェスタ 2005~2013」(新宿 PIT INN)を始め、多くのシリーズ企画を主催。ダンス好きが高じて、2014年5月から始まった深谷正子の動体WSに通い続けている。

S-9

7月8日(日) 18:00~

タイトル: 『raw』

構成/演出 カワムラアツノリ

出演: 平澤瑠、もっしゅ、今村つくみ、松崎淳、深堀絵梨(東京乾電池・HOLIDAYS)、カワムラアツノリ、他

■ 初期型 (ダンス)……2001年結成。演劇(←コトバ、関係性、物語性)とダンス(←身体、音楽・リズム、カラージュ的)を割と並列的に考えているのかもしれませんが。対人間の存在は演劇だし、対宇宙はダンスだと思う。人になつたりモノになつたりすることが好きです。(写真=きいろろさとる)



S-10

7月9日(月) 19:00~

タイトル: 『Aura・Aura』~tex.1~

■ 佐藤ベチカ (ダンス)……愛媛生まれ。16才よりバレエ、上京してジャズ、ショーダンスなど。1995年よりソロ活動を開始し、コンテンポラリーや舞踏に触れる。2009年、佐藤ベチカ・飯田晃一・中川敬文3人による「シュガーライス・センター」結成。近年は、深谷正子作品、川口隆夫作品等に参加する。



S-11

7月9日(月) 20:00~

タイトル: 『キャタピラ』

あなたが後生大事に抱えているものは/あの地味な虫ではありませんか/静かに増えて/みるみる繋がっていくのです/あなたの知らぬ間に/縄となり/鎖となるまで

■ 入江淳子 (ダンス)……千葉生まれ東京都下育ち。2003年より長谷川六主宰 PAS ダンスの学校にてダンスの基礎を習得。以来ダンサーとして様々な振付家の作品に出演する。2016年より深谷正子ダンスの犬 ALL IS FULL 作品・企画に参加。自身でもソロを中心に振付、演出を行う。アタマとカラダのつながりの回復を夢見ながら雑多な方面にてうごめく。(写真=小野塚 誠)



S-12

7月10日(火) 19:00~

タイトル未定

■ 黒須育実 (ダンス)……1987年生まれ。埼玉県出身。高校でストリートダンスをはじめ、19歳からコンテンポラリーダンスを学ぶ。横浜ダンスコレクション EX2015コンペティションにてシビウ国際演劇祭賞、Touchpoint Art Foundation賞を同時に受賞。2017年の同コンペティションにて審査員賞受賞など、コンクールで多数受賞。2018年に繊細に動きたい男集団「ブッシュマン」を旗上げ。RIP SLYME×OKAMOTO' Sやポルノグラフィティ、星屑スキャットのMVに出演など幅広く活動している。2018年3月からコンドルズメンバー。



S-13

7月10日(火) 20:00~

タイトル: 『その段差に気をつけて!』

■ 玉内集子 (ダンス)……幼少より深谷正子に師事。P' Lush として96年より作品を発表。その後ソロ活動を始める。「adjustment」、「瞳がついてまわる」、「この部屋にゴミ箱がない」など。「裂けてゆく月 #2~4」(ダンスの犬 ALL IS FULL)、千野秀一×玉内集子(美学校ギグメンタ)、笠井敬振付「冬の旅」など。ダンスが見たい!新人賞受賞。踊りに行くぜ アジアツアー参加。ダンスの犬 ALL IS FULL メンバー。



S-14

7月11日(水) 19:00~

タイトル: 『さえざり』

どこからどこまでがワタシのカラダなのか

■ 阿久津智美 (ダンス)……東京生まれ。日大芸術学部卒。在学中より笠井敬に師事。1995年笠井敬主宰オイリュトミーシューレ天使館卒業。メアリー佐野にダンカンダンスを学ぶ。現在ソロワークの他、アーティストとのコラボレーション、ワークショップを国内外で行う。2011年より即興ソロシリーズ「それから」をスタート。2014年LAにて結成されたパフォーマンスユニット△メンバー。2015年より「身体の知覚」に参加。

■ 清水博志 (something)……主に打楽器の演奏を通じて時間や人や人以外のものに関わっている。民族楽器から電子楽器、時に日用品やガラクタなどを使い即興演奏を軸に多岐にわたるバンドで活動する傍らソロで様々なアーティストと共演する。パペットシアターやパフォーマンスユニット△のメンバーとして時々海外にも出張。近年は純粋に音そのものに対する興味から演奏以外の表現も模索している。



S-15

7月11日(水) 20:00~

タイトル: 『茶色に咲く花、青空の中で』

シアン色の空にポツンと奇妙にまで茶色く、/久遠へ緩やかに咲ききれぬまま/木っ端微塵となって彼女の目に降りかかるとき/強者どもは自分の利に走り/冷酷な淀みのどこかにやさしさを置き忘れてる/青い僕はどうすることもできなかった/彼女の目がどうなっているか/また次の陽が上るときさらに濃い青さになるか!

■ 零境 (ダンス)……舞踏家・鶴山欣也(舞踏工房 若衆・主宰)の誘いを受け、舞踏を始める。国内のみならずアメリカ、イギリス、スペイン、メキシコなどで活動。2000年にスペイン・マドリードでユニット・グループ「零」を旗揚げ、イタリア、スペイン、ペルー、韓国、フランスなど国外にも公演、ワークショップを行っている。2000年東京藝術大学大学院博士課程修了、美術博士号取得。

■ MORIO (E.Gt.)……奄美大島出身のギタリスト。2000年より舞踏やダンスの舞台音楽を担当。国内外で演奏活動を行う。抽象的ながらもメロディアスなプレイが多い。「キッズギター・ベース」主宰

